

## 【添付資料①】

# 原料相場の動向

# 1. 原料相場の動向「食用油」(1)



【添付資料①】原料相場の動向

- シカゴ大豆相場は北米の歴史的干ばつにより2012年8月に17.7ドルをつけたが、昨年末に14ドルまで急落した。2013年年初～5月後半までは14～15ドルで動いていたが、5月下旬から北米の作付け遅れによって一旦16ドルを付けた。現在は、その後の天候も順調であることから13ドル前後で推移している。
- 昨年末からの急激な円安により円建ての原料価格の上昇要因となった。
- 今秋の北米の収穫状況は順調だが、今年の干ばつにより在庫数量は少なく、今後極端に相場を下げる材料は見当たらない。今後は中国の買付け動向やドル円相場の動きには要注意である。

# 1. 原料相場の動向「食用油」(2) シカゴ大豆相場の推移

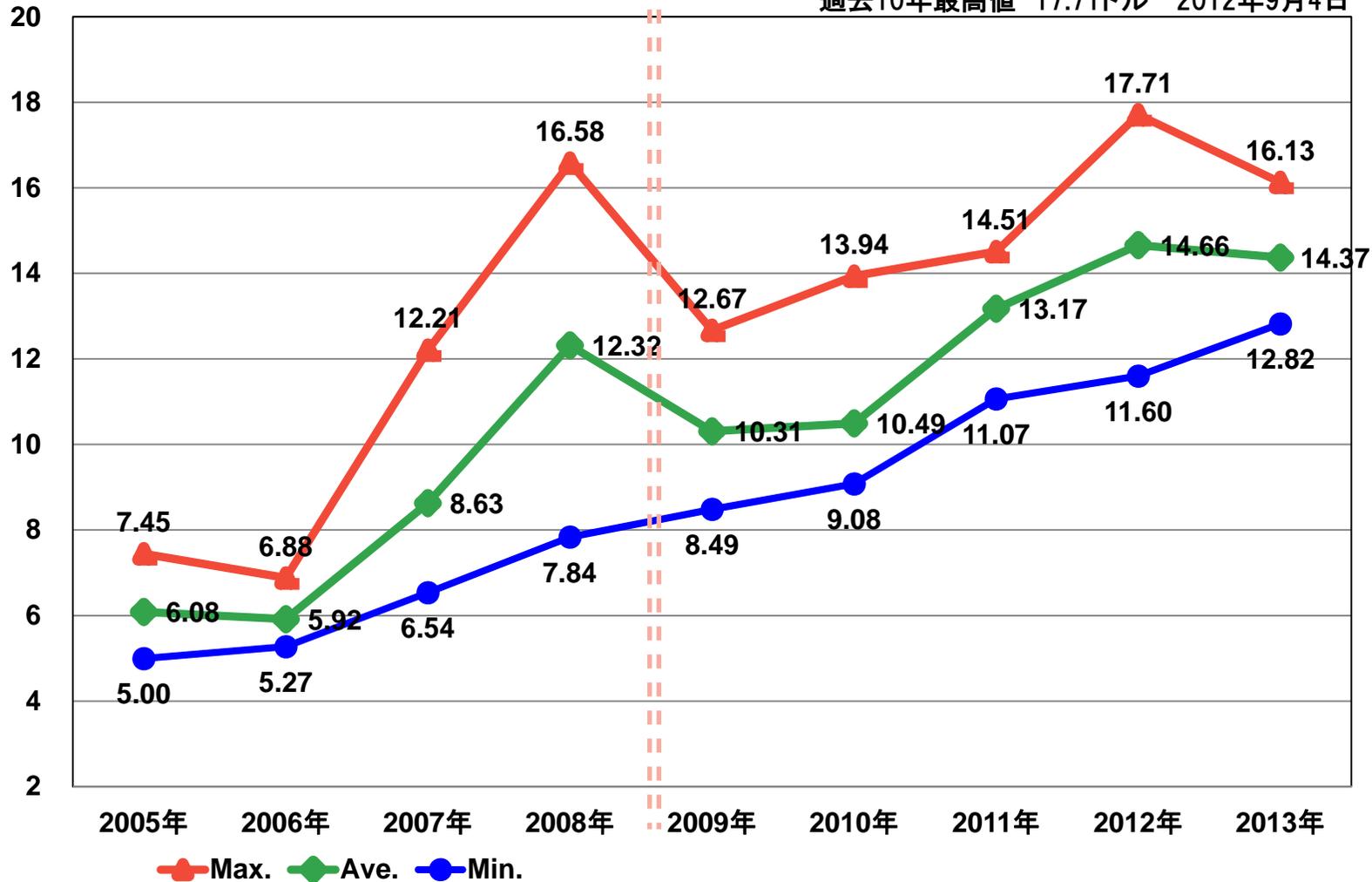


【添付資料①】原料相場の動向

単位：ドル/ブツ  
          /シェル

リーマン・ショック

過去10年最高値 17.71ドル 2012年9月4日



※2013年は、1月～9月のデータです

## 2. 原料相場の動向「鶏卵」(1)

【添付資料①】原料相場の動向



- 2013年度の鶏卵相場は4月～6月は安定していたが、7月以降の猛暑による産卵率の低下・斃死、需給調整（成鶏更新・空舎延長事業）により上昇。
- 斃死による生産量減からの回復もすぐには望めないものと思われ、これからの鶏卵需要期を迎え、鶏卵相場は高い水準で推移することが予想される。
- 7月～9月平均の鶏卵相場
  - 2013年度 181円
  - 2012年度 164円⇒ 対前年で10%以上の上昇

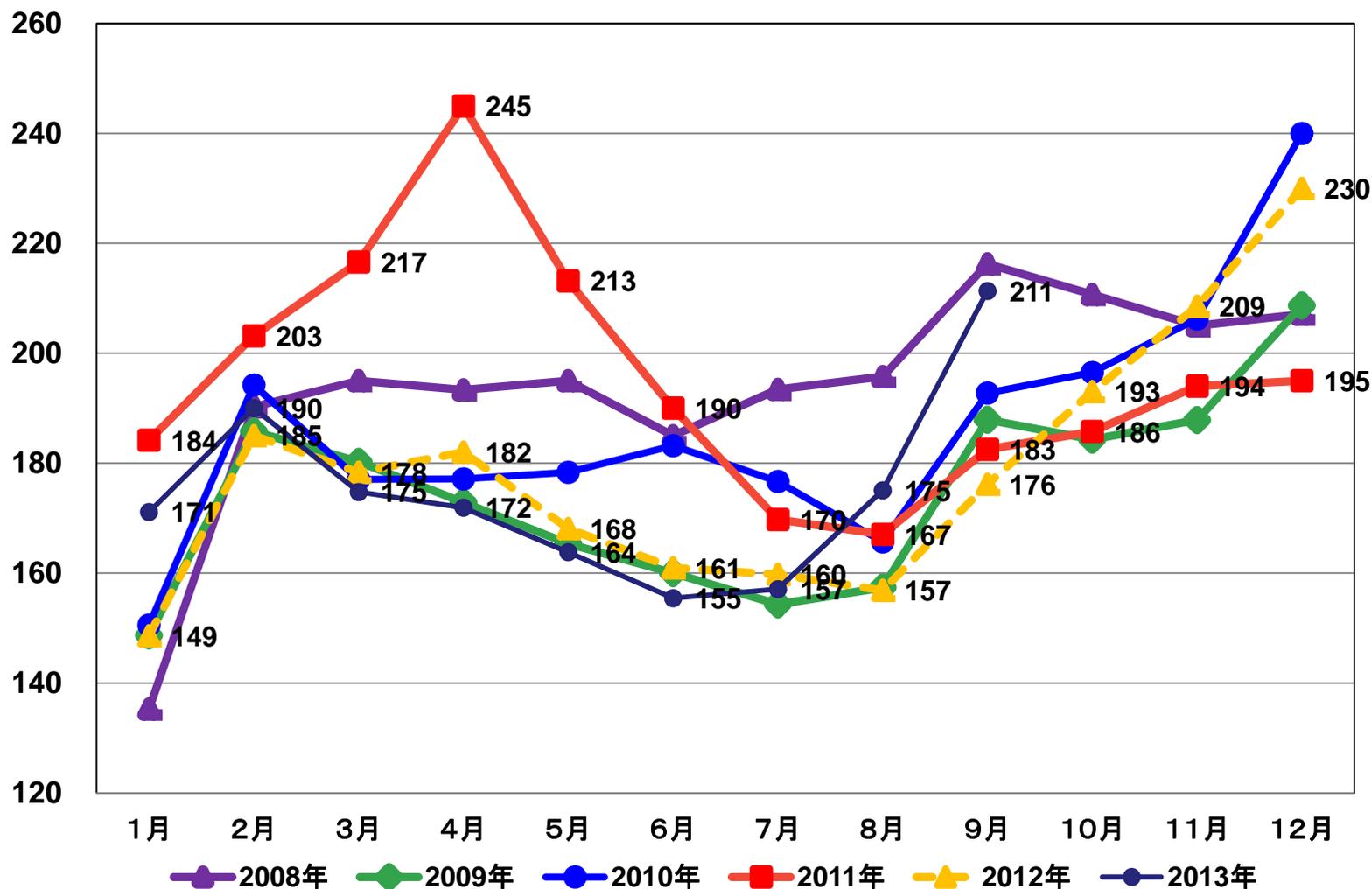
## 2. 原料相場の動向「鶏卵」(2) 取引価格の推移

【添付資料①】原料相場の動向



単位:円/kg

全農たまごMサイズ(東京)



※2013年は、1月～9月のデータです

### 3. 原料相場の動向「馬鈴薯」(1) 主力産地:北海道における状況

【添付資料①】原料相場の動向



- 2013年の作付面積は、前年比 97.2%の微減となり、生産量も前年比5.5%減の956千トンとなる見込み。  
(過去5年間の平均生産量対比では97.1%)
- 主要産地である帯広地区では、ほぼ前年並みに落ち着く見込み。
- 2013年産の価格については、菓子メーカーからの引き合いは堅調ではあるが、前年並みに推移する見通し。

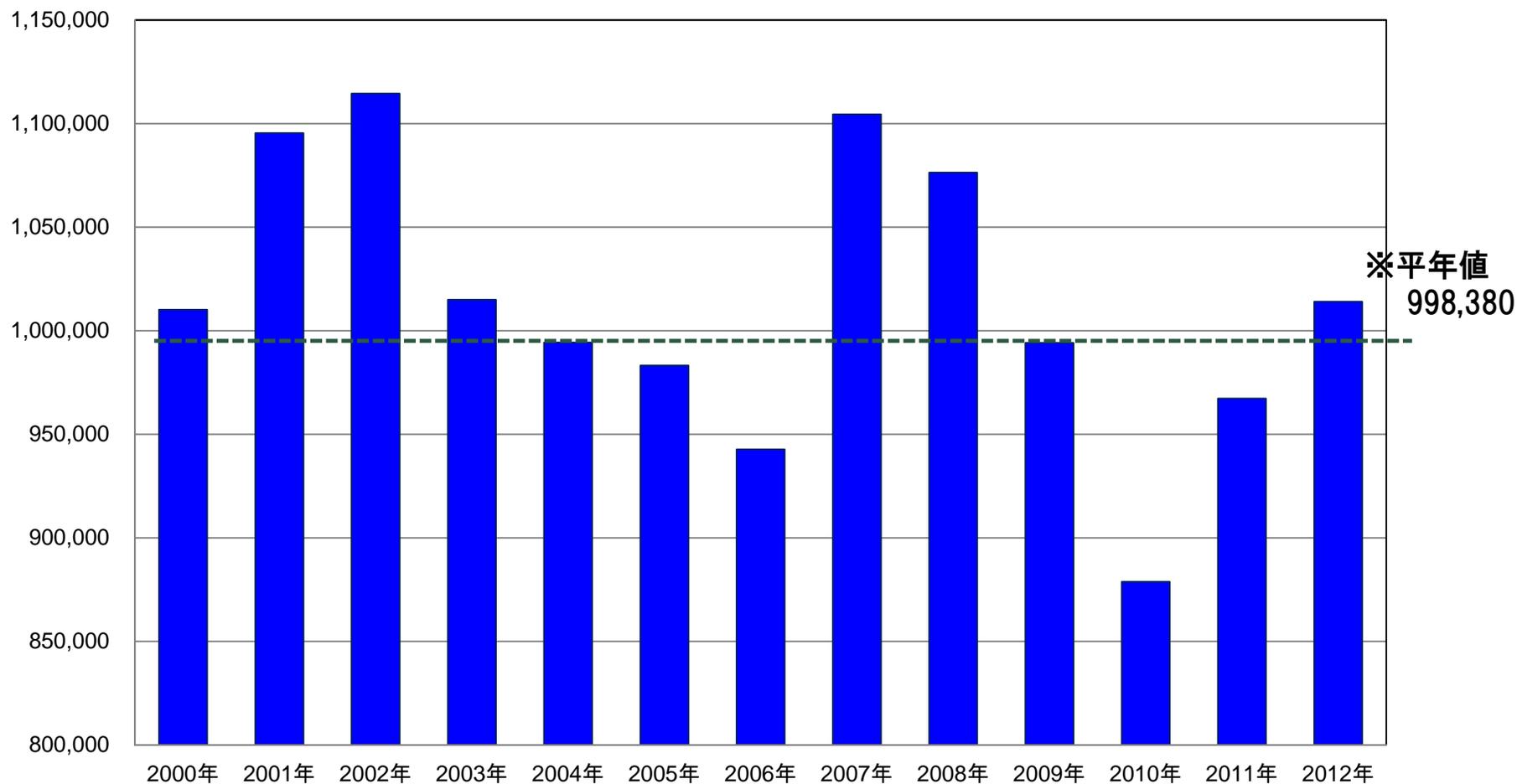
### 3. 原料相場の動向「馬鈴薯」(2) 生産量の推移

【添付資料①】原料相場の動向



単位:トン

ホクレン(北海道)



※平年値:過去10年間での最大値・最小値を除く平均値

## 【添付資料②】

# 会社概要

# 1. 会社概要

【添付資料②】会社概要



社名	ケンコーマヨネーズ株式会社 KENKO Mayonnaise Co., Ltd.
設立年月	1958(昭和33)年3月
資本金	2,180,781,500円
本店所在地	兵庫県神戸市灘区都通3丁目3番16号 (東京本社) 東京都杉並区高井戸東3丁目8番13号
代表者	代表取締役社長 炭井 孝志
事業内容	サラダ・総菜類、マヨネーズ・ドレッシング類、 タマゴ加工品等の食品製造販売
売上高	54,533百万円 (連結 2013年3月期)
経常利益	2,574百万円 (連結 2013年3月期)
売上構成比	サラダ・総菜類45.1%、マヨネーズ・ドレッシング類30.8%、 タマゴ加工品22.1%、その他2.0% (連結 2013年3月期)
従業員数	2,936名(連結 2013年3月31日現在)



## 2. グループ沿革

【添付資料②】会社概要



	1958(昭和33)年 3月	会社創立 食用油脂の販売
転換点	1961(昭和36)年 9月	業務用サラダ向け「ケンコーマヨネーズAS」の製造販売を開始
	1966(昭和41)年 6月	ケンコー・マヨネーズ株式会社に商号変更 マヨネーズ・ドレッシング類を事業の基盤として事業展開
転換点	1977(昭和52)年 10月	業界初のロングライフサラダ「ファッションデリカフーズ®」発売 外食・中食市場が広がる中、ロングライフサラダを市場投入・市場創造
	1986(昭和61)年 12月	ごぼうサラダ(業務用)発売、ファイバーブームの先駆け サラダを柱とした調理加工食品およびタマゴ加工品へ事業を拡大
	1992(平成 4)年 6月	ケンコーマヨネーズ株式会社に商号変更
	1994(平成 6)年 11月	日本証券業協会(現 JASDAQ)へ株式を店頭登録
	2005(平成17)年 5月	健可食品(香港) 設立
	8月	健可食品(東莞) 設立
	8月	サラダカフェ(株) 設立
	2010(平成22)年 4月	頂新グループ(台湾)と提携、頂可(香港)を設立し中国事業を強化
	2011(平成23)年 3月	東京証券取引所市場第二部上場
	2012(平成24)年 3月	東京証券取引所市場第一部指定
	7月	PT. Intan Kenkomayo Indonesia(インドネシア ジャカルタ)を設立



←ケンコーマヨネーズAS(61年)

ファッションデリカフーズ®(77年)→



# 3. 事業概要 幅広い商品ラインナップ



【添付資料②】会社概要

商品数1,500以上。年間開発アイテム数は、300アイテムを超える

**サラダ・総菜類**  
 ロングライフサラダ・  
 フレッシュサラダ・和惣菜など



FDF®(ファッションデリカフーズ)  
 FR&FR(フレッシュ&フレッシュ)



冷凍商品等

和惣菜



ロングライフサラダ フレッシュサラダ

**マヨネーズ・ドレッシング類**  
 マヨネーズ・ドレッシング・  
 クッキングソースなど



マヨネーズ類

ソース類



ドレッシング類



**タマゴ加工品**  
 錦糸卵・フレッシュエッグ・  
 卵焼きなど



タマゴ加工品



錦糸卵



タマゴサラダ

商品  
(アイテム)

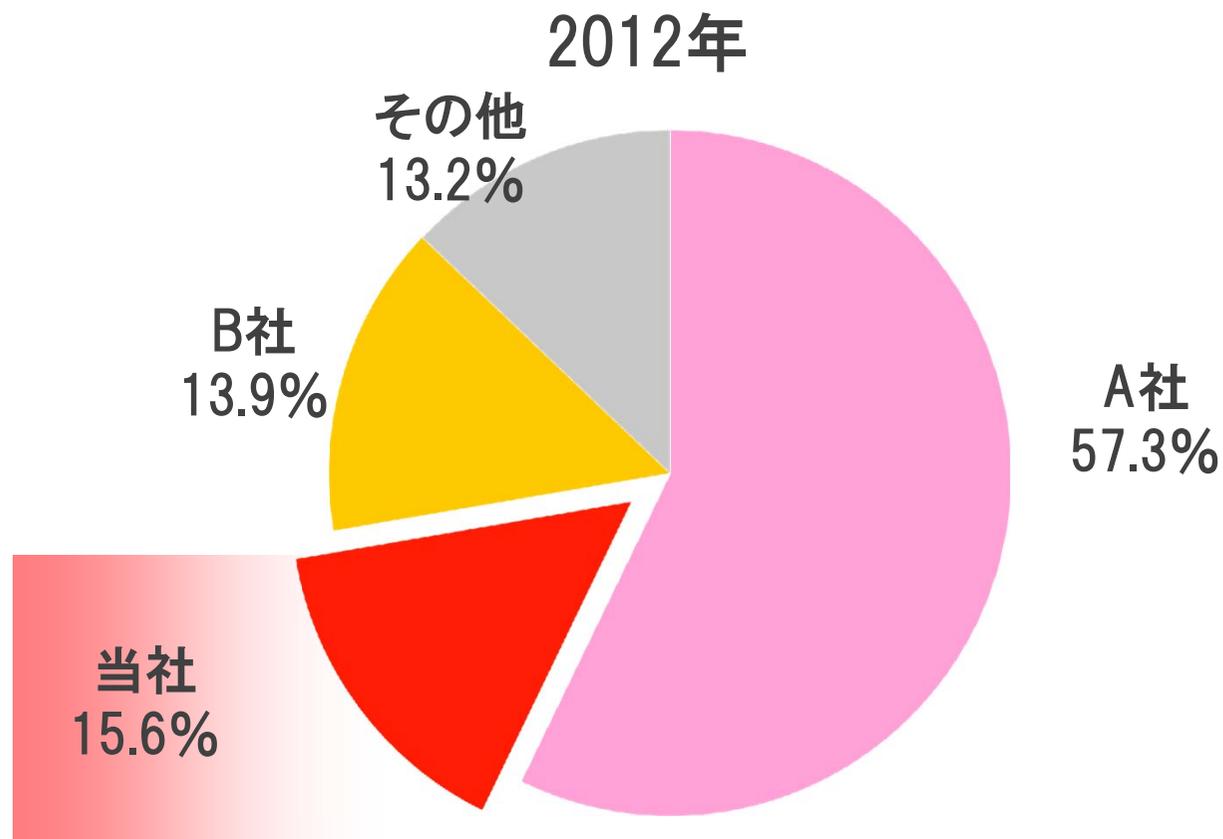
使用例

## 4. ① 業界における当社の位置づけ

【添付資料②】会社概要



■ 業界シェア : マヨネーズ・ドレッシング類



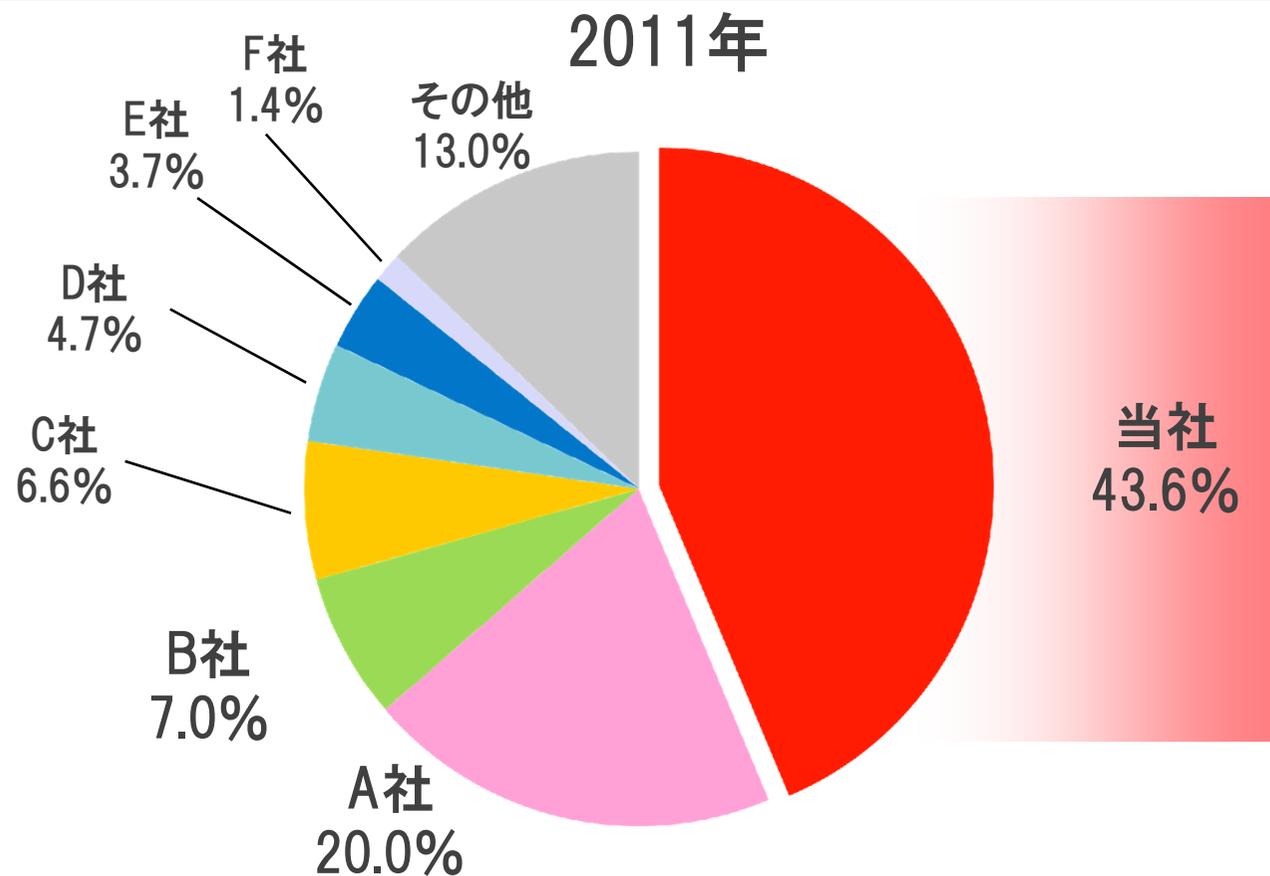
マヨネーズ・ドレッシング類の合計生産量は、シェア2位を継続

## 4. ② 業界における当社の位置づけ

【添付資料②】会社概要



■ 業界シェア : ロングライフサラダ



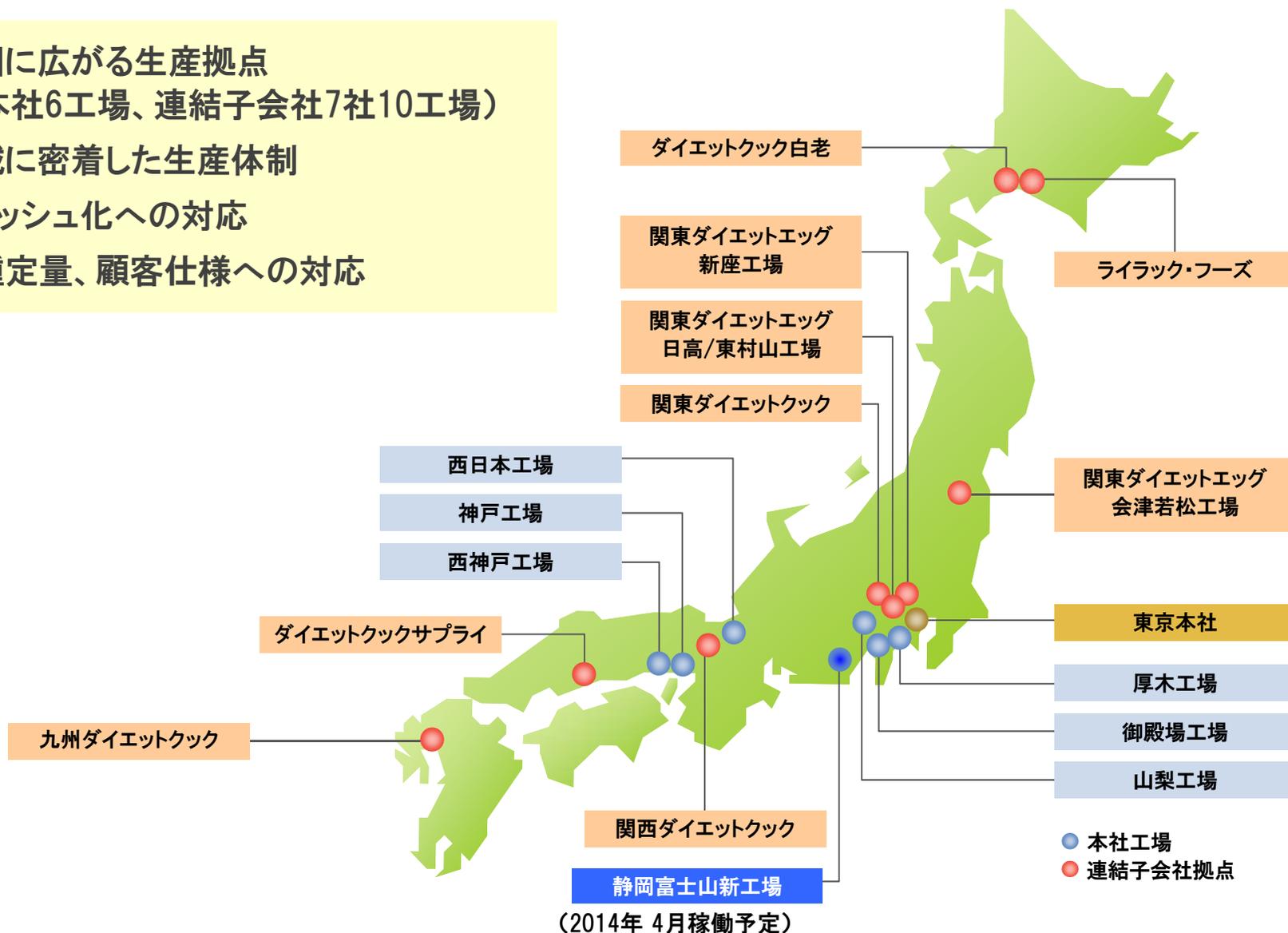
ロングライフサラダでは業界のパイオニアであり、トップシェアを堅持

# 5. 顧客ニーズへの対応のための生産拠点



【添付資料②】会社概要

- 全国に広がる生産拠点  
(本社6工場、連結子会社7社10工場)
- 地域に密着した生産体制
- フレッシュ化への対応
- 変種定量、顧客仕様への対応



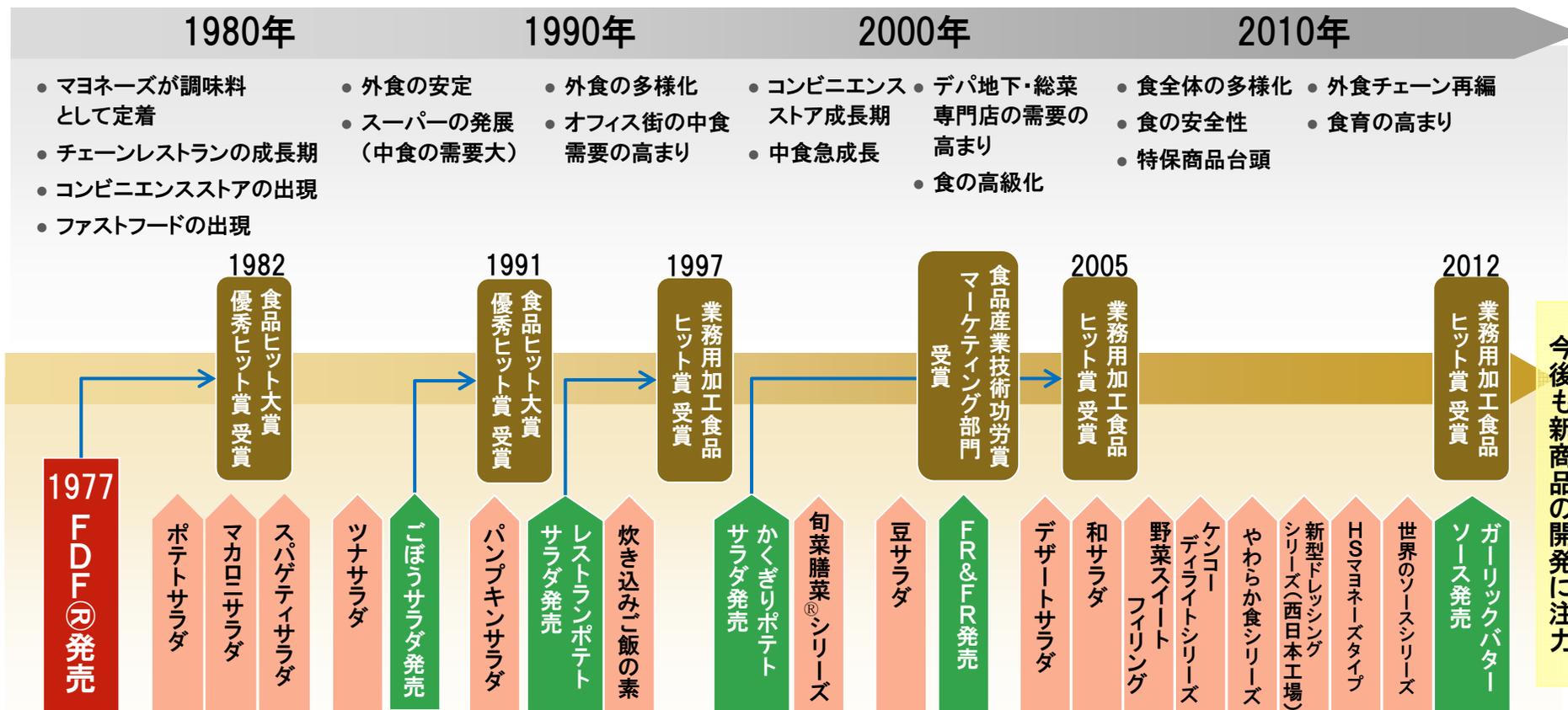
## 6.【当社の強み①】 顧客ニーズを満たす優れた商品開発力



【添付資料②】会社概要

### 高付加価値製品の開発

- サラダのパイオニアとして顧客のニーズを先取りした製品を創出
- 地域との取り組みを重視した製品づくり
- 健康、環境を考慮した製品の開発



## 6.【当社の強み②】 顧客ニーズを満たすキメ細かな対応力

【添付資料②】会社概要



### 素材へのこだわり

- シーズンに合った素材を調達し、その季節に合った調理法を提案
- 顧客ニーズに合わせた加工製品を製造

シーズンに合ったおいしい  
ジャガイモを調達  
(年間ポテトリレーの提案)

- 11月～1月   きたあかり
- 2月～10月   さやか  
                  または  
                  男爵等



生産者履歴を管理



顧客のニーズに合わせて  
保存期間の違う3つの  
タイプのサラダを製造

- ① ロングライフサラダ
- ② フレッシュ&フレッシュ
- ③ フレッシュサラダ



## 6.【当社の強み③】 分野別の主要顧客

【添付資料②】会社概要



分野	主要顧客
外食	ファストフード(ハンバーガー・ピザ・チキン・仕出し・持ち帰り弁当、回転寿司・牛丼・定食、他)、ファミリーレストラン、焼肉レストラン、居酒屋、コーヒーショップ、他
量販店	スーパーマーケット(全国チェーン・地方チェーン)
CVS	コンビニエンスストア
パン	製パンメーカー、リテールベーカリー
給食	事業所・病院等へのコントラクトフードサービス、学校給食
その他	生協、業務用食材スーパー、他

## 7. サラダカフェ事業① ～コンセプト～

【添付資料②】会社概要



「市場演出型企业」の実践として、“サラダ料理で新しい世界を食卓に”をコンセプトに  
毎日の生活が楽しくなるようなサラダ料理でお客様に笑顔とサービスをお届け

### 1 ショップ展開

- 消費者情報の収集と発信（グループでの情報共有 = 三位一体経営）
- 接客とサービスでNo.1を目指す
- サラダ(冷総菜)専門店と洋総菜専門店(温総菜・米飯等含む)のビジネスモデル構築
- 食を通じて「健康に、元気になる」商品を生供給
- 野菜をキーにした、サラダ・総菜でのサラダ料理の展開
- 野菜(国産原料等)へのこだわり、機能性(食物繊維増、カロリーオフ)メニューの展開
- 料理研究家・浜内千波氏とのショップメニューの共同開発

### 2 Webサイト展開

- 消費者情報の収集と発信（グループでの情報共有 = 三位一体経営）
- サラダ料理に特化したメニューレシピの提供（1,000メニュー以上）
- お客様からのレシピ投稿による商品化企画(コミュニケーション作り)
- 生活者データのアンケート実施（マーケティング調査）

## 7. サラダカフェ事業② ～ショップ展開～

【添付資料②】会社概要



### 三位一体提案の実践として百貨店やショッピングモールなどに出店(16店舗)

- Salad Cafe 近鉄あべのハルカス店
- Salad Cafe 高島屋大阪店
- Salad Cafe 高島屋京都店
- Salad Cafe SALA PARA 阪急百貨店うめだ本店
- Salad Cafe SALA PARA 千里阪急店
- Salad Cafe 阪神百貨店梅田本店
- Salad Cafe イオンモール京都五条店
- Salad Cafe 東武百貨店池袋店
- Salad Cafe 小田急百貨店新宿店
- Salad Cafe 小田急百貨店町田店
- WORLD SALAD Chef's DELI
- 皿多屋 Ario八尾店
- 皿多屋 Ario鳳店
- 皿多屋 イトーヨーカドーあべの店
- 皿多屋 イトーヨーカドー武蔵境店
- 皿多屋 イトーヨーカドー武蔵小金井店



Salad Cafe 小田急百貨店新宿店



Salad Cafe 近鉄あべのハルカス店

# 8. 海外事業

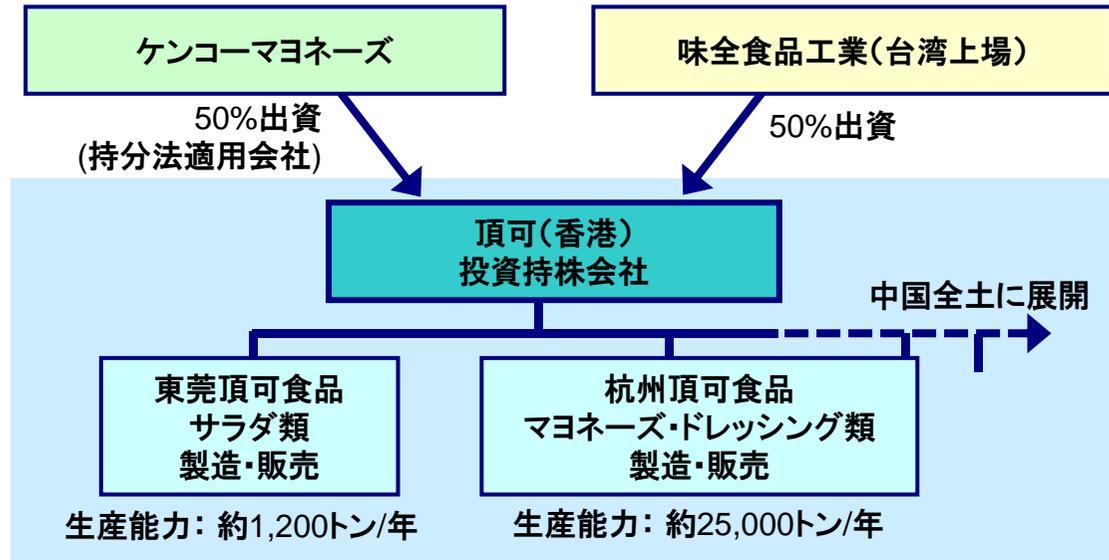


【添付資料②】会社概要

## 中国事業

### ○進出理由

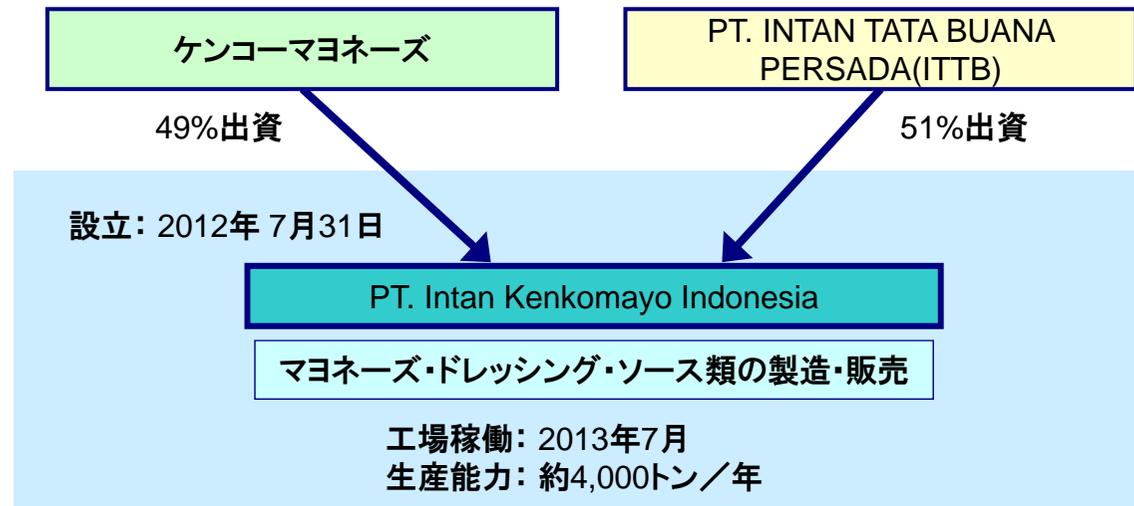
- 中国の食糧・飲料総市場は、2000年より毎年平均19%の成長
- 沿海部の中間層の購買力向上により食生活の洋風化が進行  
→サラダやサラダ調味料の需要が拡大



## インドネシア事業

### ○進出理由

- 東南アジアで最大の人口
  - 急速な経済成長を続けている国のひとつ
- 今後の成長が見込まれる調味料市場への参入

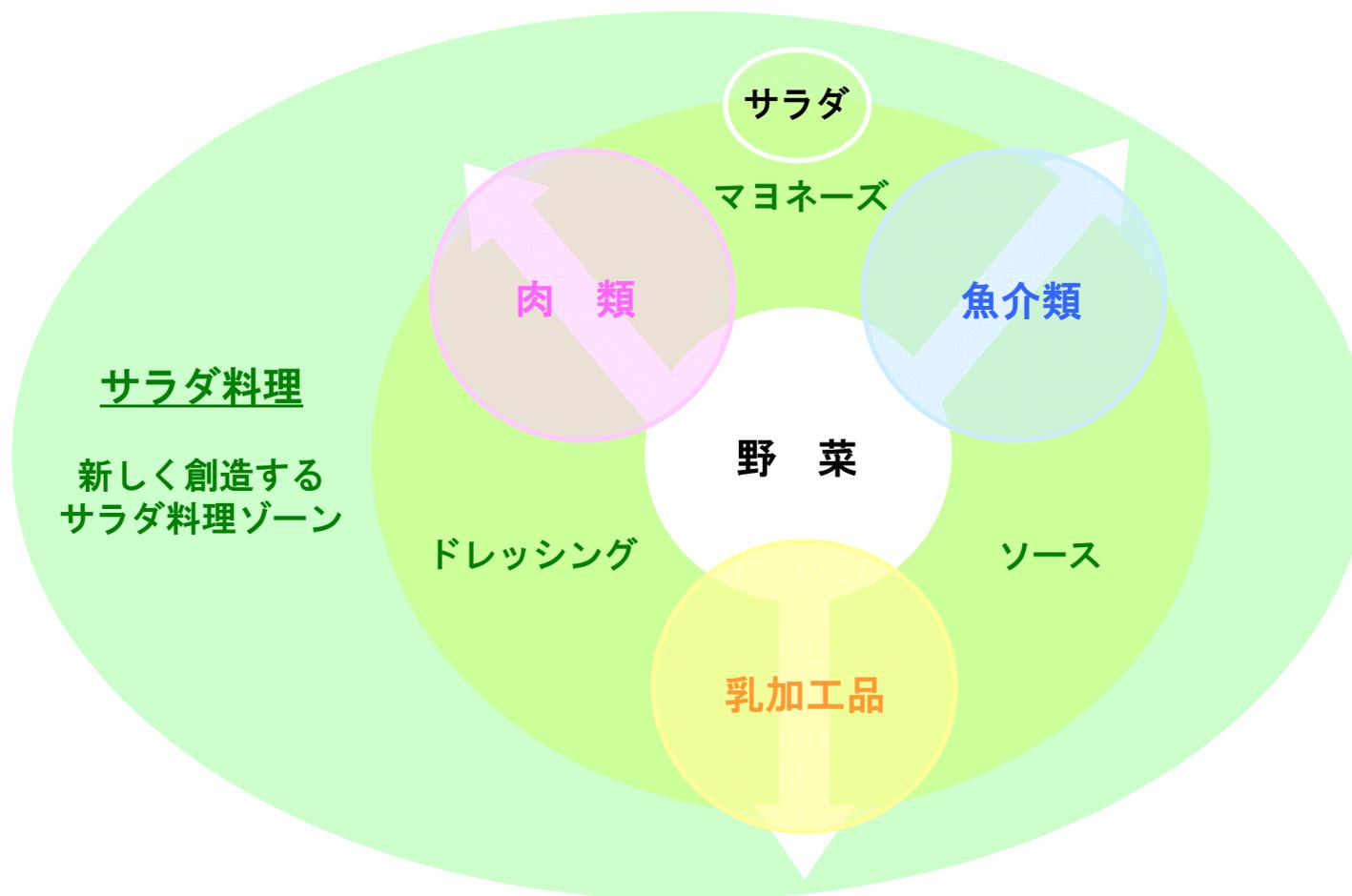


# (ご参考) サラダ料理の定義



【添付資料②】会社概要

- ◆ 野菜＋あらゆる食材(肉類・魚介類・乳加工品)＋あらゆるソースとの調和を図り、進化発展させた主菜サラダ



## 【添付資料③】

### 主な指標の推移

# 1. 業績の推移

## 【連結】主な経営指標の推移

【添付資料③】主な指標の推移

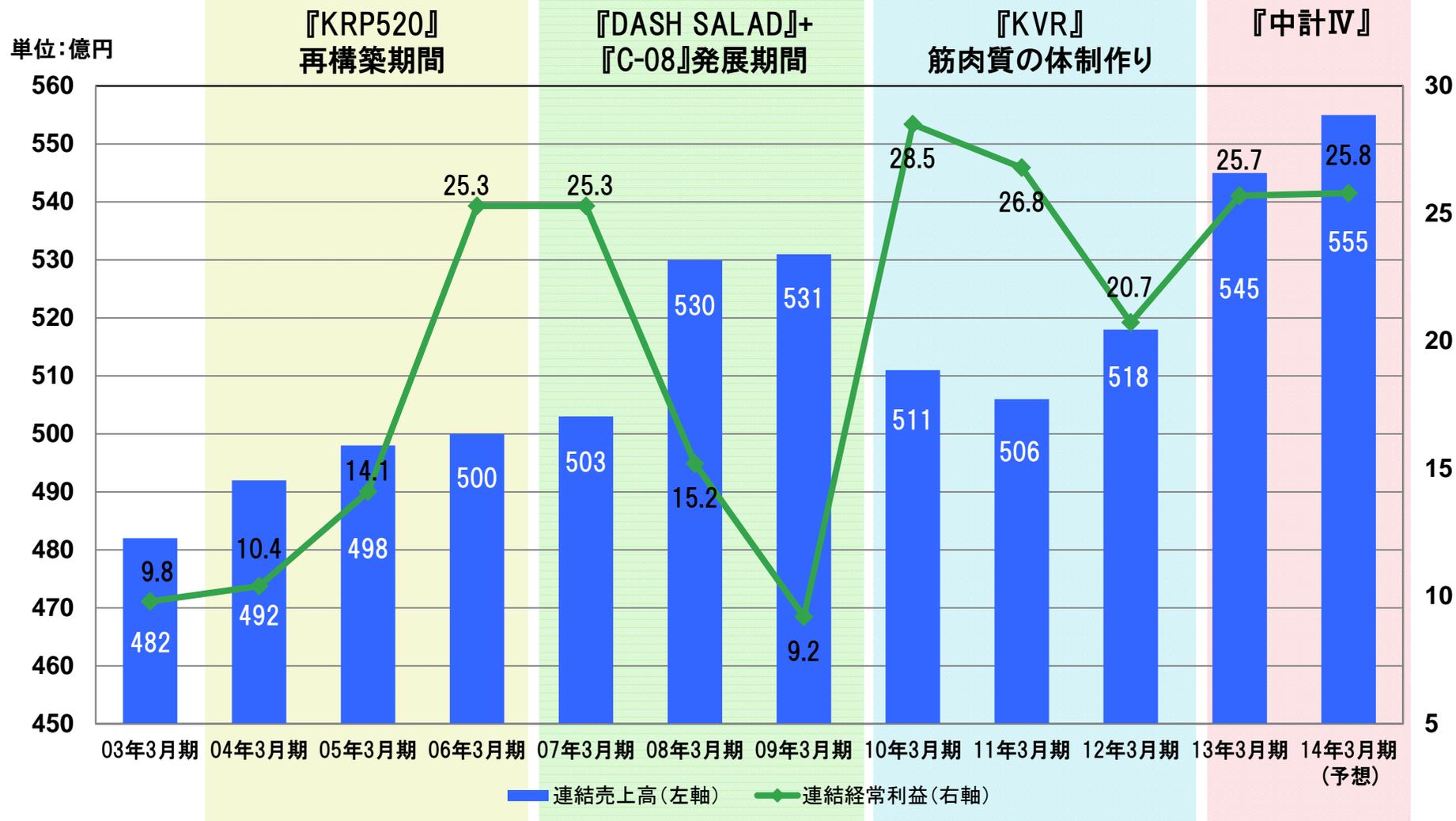


単位: 億円	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期 (予想)
売上高	530	531	511	506	518	545	555
営業利益	16	9	29	27	21	27	27
経常利益	15	9	28	26	20	25	25
当期純利益	7	3	14	13	10	14	14
1株当たり 当期純利益(円)	58.02	23.36	112.27	103.47	72.46	99.16	99.92
純資産	96	95	109	127	134	148	—
総資産	296	295	297	307	304	339	—
自己資本比率(%)	32.3	32.4	36.7	41.3	44.4	43.5	—
自己資本当期純利 益率(%) (ROE)	8.0	3.1	14.1	11.2	7.9	10.0	—
総資産経常利益率 (%) (ROA)	5.2	3.1	9.6	8.9	6.8	8.0	—

# 1. 業績の推移

## 【連結】売上高・経常利益

【添付資料③】主な指標の推移



## 2. 株主還元

### 配当政策・株主優待品

【添付資料③】主な指標の推移



#### 配当政策

連結ベースでの配当性向20%を意識して、配当の継続性に配慮しつつ、  
当社の今後の成長と発展にあわせて、安定配当水準を高めていく。  
2013年3月期より利益還元機会の増加を目的に、中間配当を実施。

#### 株主優待品

権利確定日：決算期末(3月末日)現在の株主さま  
送付時期：毎年5月下旬～6月初旬



当社製品2,500円相当↑

#### 贈呈の基準

当社製品1,000円相当↑

#### 贈呈品

10単元(1,000株)以上の保有の株主さま一律

当社製品 2,500円相当

1単元(100株)以上10単元(1,000株)未満保有の株主さま一律

当社製品 1,000円相当

## 2. 株主還元

### 配当金推移

【添付資料③】主な指標の推移



	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期 (予想)
配当金(円/株)	10	11	11	15	20※3	20※4	21	21
配当性向(%)	6.5	19.0	47.1	13.4	19.3	27.6	21.2	21.0
配当利回り(%) (ご参考) ※1	0.9	2.6	3.0	2.5	3.6	3.2	2.3	-
純資産(株主資本)配当率 (%) (DOE) ※2	1.5	1.5	1.5	1.9	2.3	2.2	2.1	-



※1 配当利回り=1株あたりの配当金(合計) / 各年3月末日時点株価(終値) × 100

※2 純資産(株主資本)配当率 = 1株あたり配当金(合計) / ((期首+期末 1株あたり連結純資産) ÷ 2) × 100

※3 東京証券取引所市場第二部上場記念配当 5円を含む

※4 東京証券取引所市場第一部上場記念配当 5円を含む

# お問い合わせ



- IRお問い合わせ先

- 東京本社 : 東京都杉並区高井戸東3丁目8番13号
- 担当者 : 執行役員 経営企画統括室長 渡辺 亮彦
- 電話 : 03-5962-7787
- E-mail : ir@kenkomayo.co.jp

- 将来見通しに関する注意事項

本資料は投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述は、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、皆様ご自身の判断と責任においてご利用されることを前提に提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。